

# 上方修正・配当増額を好感

## 実力評価機運高まる

### アバント

アバント(3836)が続伸。7日引け後に今6

やコンサルティング・サービスを行う。3月に東証1部に指定されるとともに、それに合わせた株式売出で、知名度、流動性は高まっており、実力がさらに評価される舞台が整っている。

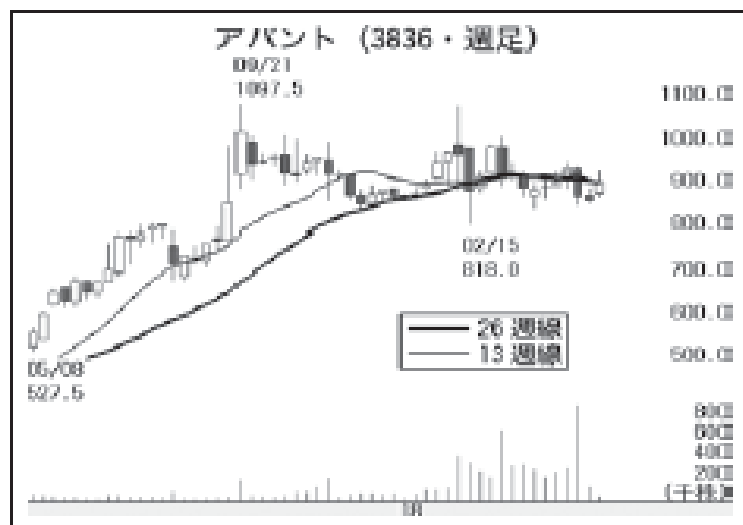
高が大型案件の受注で予想を上回って推移している。特にコンサルティング・サービスは、IFRS(国際会計基準)適用、グループ・カバランスなどの経営管理の高度化に1対1で大幅な増収。

月期の第3四半期(3Q、昨年7月〜今年3月)決算を発表。同時に通期予想の上方修正と期末の配当増額を発表したことを好感した。

同社は連結会計関連のパッケージソフトの販売

3Qの営業利益は11億3600万円(前年同期比12・5%増)となった。

1〜3月期の営業利益は4億7600万円と四半期ベースで最高となった。3Q末の受注残高は



12億2400万円から13億円(前期比0・5%減)に修正したが、これに対する3Qでの進捗(しんちよく)率は87%に達しており、上振れを読む向きが多い。

24億円台(前年同期比21%増)に積み上がっている。通期の営業利益予想を

対して実質増配となる。予想の10円から12円に増額した。前期の16円(1対2株式分割実施前)に